

『看護研究 2 回目研修』 研修会実施報告

日時 : 令和 4 年 5 月 28 日 (土) 8 : 30 ~ 17 : 15

対象者 : ラダー II を目指す者

参加者数 : 15 名 (卒後 4 年目 6 名、部署研究 9 名)

目標 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り看護の方向性を養うことができる。

< 講師の紹介 >

畿央大学

健康科学科 理学療法学科

福森 貢 先生



< 内容 >



看護研究 2 回目は、研究に活かせる統計処理の方法について理解することを目的に講義が始まりました。福森先生オリジナルの統計処理ソフトを使用させて頂き、仮説検定の意味や検定方法についてわかりやすく講義をして頂きました。

演習問題では講義で学んだ知識を用いて様々な検定方法を体験し、分析方法について学びを深めることができました。

講義の後、各研究グループに分かれ自分達の看護研究には、どのようなデータが必要で、どの検定方法を活用して統計処理を行えば、正しく分析することができるのかについて検討することができました。研究計画書をもとに福森先生から具体的な統計処理の方法についてアドバイスも頂き、分析方法のイメージができたと思います。自分達の研究で明らかにしたいことを統計学的に証明できるよう正しくデータを収集し、分析して欲しいと思います。